

A Study of the Simultaneous *~nagara~shite* in Japanese and *yibian~yibian~yibian~* in Chinese

Yukiko Muramatsu, *Jin sheng Wang

The purpose of this paper is to make clear the grammatical condition of “~nagara~shite” in Japanese and “yibian~yibian~yibian~” in Chinese. Both “~nagara” and “yibian~yibian~” are used for expressing a relationship of simultaneity between clauses. This paper discusses the case where three actions take place simultaneously and shows the following two points.

- (1) We have to pay attention to the relationship of two actions that are connected by “~shite”, because “~shite” implies the temporal sequence or the main and subordinate relationship.
- (2) When the actions have a temporal sequence, they are arranged in order in the sentence of “yibian~yibian~yibian~”.

* Part-time instructor, Tokai Women's College

3つの動作の同時進行を述べる表現について

——日本語の「～ながら～して」と中国語の「一边～一边～一边～」——

村 松 由起子, *王 進 生

1. 本稿の目的

2つの動作の同時進行を述べる場合の代表的な表現として、日本語には「～ながら」が、中国語には「一边～一边～」がある。

- (1) a 夜空を見ながら, 星を数える。
b 一边看着夜空, 一边数着星星。
- (2) a こおろぎの声を聞きながら, 夜空を見る。
b 一边听着蚰蚰儿的叫声, 一边看着夜空。

では、(1) 及び (2) で述べられている「夜空を見る」「星を数える」「こおろぎの声を聞く」を一つの文で述べるとどのような表現になるのであろうか。

- (3) a 夜空を見て, 星を数えながら, こおろぎの声を聞く。
b* こおろぎの声を聞きながら, 星を数えて, 夜空を見る。

aが自然な表現であるのに対し, bは不自然である。

中国語の場合でも, (4) aは自然な表現であるが, 述べる順を入れ替えたbは不自然となる。

- (4) a 一边看着夜空, 一边数着星星, 一边听着蚰蚰儿的叫声。
b* 一边听着蚰蚰儿的叫声, 一边数着星星, 一边看着夜空。

このように、同時進行の動作が3つの場合、3つの動作を単に繋げればよいというわけではないことがわかる。本稿の目的は、日本語と中国語のそれぞれについて、同時進行する動作が3つの場合に、その述べ方がどのように決定されるのかを明らかにすることである。

なお、本稿では動作の同時進行を述べる表現のうち、日本語については「～ながら」と「～して」を組み合わせた場合を、中国語については「一边～一边～一边～」を用いた場合を考察の対

* 東海女子大学非常勤講師

象とする。

2. 「ながら」の用法

「動詞+ながら」には、本稿で扱う同時進行の他に逆接を述べる用法もある。

(5) わかっていながら答えなかった。

(6) 来ると言いながら来なかった。

「動詞+ながら」が同時進行を表すか逆接を表すかの使用条件については、和田(1998)が詳しく考察している。和田は「ナガラ節」のアスペクトの違いに注目し、アスペクトが継続の時には同時進行を、パーフェクトの時は逆接を表すと指摘し、「変化動詞+ながら」の場合でも、(7)(8)のように「その状態を維持するには、力を入れ続けるというような、エネルギーの供給が必要となる」場合には、同時進行を表すとする。¹⁾

(7) 父は重い荷物のかつぎながら歩いていった。

(8) その犬は大きな肉をくわえながら橋を渡って行きました。

この他、「動詞+ながら」には同一主体の行為でなければ成立しない²⁾という制約もあるが、動作主は人間でなくてもかまわない。(9)は森山(1988)、(10)は森田(1990)が挙げている例である。³⁾

(9) この氷は溶けながらきらきらと輝いている。

(10) たくさんの原子力が同時に勢いづきまして、お互いに衝突しながら反応をどんどん進行していく。

これらの先行研究で扱っているのは動作が2つの場合である。本稿では動作が3つの場合を考察するのであるが、上述の先行研究による成果は「ながら」の基本的な特徴であり、動作が3つになった場合にも該当すると考える。従って、本稿では先行研究の成果を踏まえた上で、動作が3つになることによって生じる問題について考察していく。

3. 3つの動作の同時進行を述べる表現

先行研究で明らかにされているように、同時進行の「ながら」が付くのは継続の動作に限られる。そのため、(11)のように、動詞がともに継続動作動詞である場合には、述べる順序を入れ替えることが可能であるが、(12)のように、後件が瞬間動作動詞の場合に順序を入れ替えると、瞬間動作動詞に「ながら」が付くことになり不適格な表現になる。

(11) a 食事をしながら、話す。

b 話しながら、食事をする。

(12) a 働きながら、大学を卒業する。

b* 大学を卒業しながら、働く。

(12)の場合、「卒業する」を「勉強する」にすれば、入れ替えが可能になる。

(13) a 働きながら、大学で勉強する。

b 大学で勉強しながら、働く。

この章では動作の並べ方を問題にする関係上、順序を入れ替えることができない瞬間動作動詞は考察の対象から除き、同時進行の「ながら」が付く動詞、すなわち継続動作動詞と結果の状態維持を表しうる動詞について扱っていくことにする。

3つの動作を述べる表現を考察していくうちに、不自然さを感じながらも使えそうな表現が多いことがわかった。そこで、日本人学生39名にアンケートを取り、不自然さの感じ方に個人差があるかどうかを調べ、考察の参考にした。以下の(14)(15)(16)はアンケートで質問したものの一部である。

(14) a この続きは、食事をしながら、ビールでも飲んで、話しましょう。

b この続きは、食事をして、ビールでも飲みながら、話しましょう。

(15) a お菓子を食べながら、音楽を聞いて、本を読む。

b お菓子を食べて、音楽を聞きながら、本を読む。

(16) a 助手席に座っている人と話しながら、音楽を聞いて、運転する。

b 助手席に座っている人と話して、音楽を聞きながら、運転する。

(14)(15)(16)について、自然な表現かどうかを判定してもらったところ、次のような結果が得られた。

	自然	場面によっては使える	不自然
(14) a	27	10	2
(14) b	24	12	3
(15) a	22	14	3
(15) b	20	14	5
(16) a	25	10	4
(16) b	9	18	12

興味深いのは、(16) bのみ、自然だと感じる人が極端に少ない点である。これは、「助手席に座っている人と話す」と「音楽を聞く」ことが、「～して」つまり「連用形+て」で繋がられていることからくる不自然さであると考えられる。言語学研究会・構文論グループ(1989)は「連用形」接続を「第一なかどめ」、「連用形+て」接続を「第二なかどめ」と呼び、その違いを「ふたつの動作・状態が動詞の第二なかどめの形でむすびつけられると、そこには主要な動作・状態と副次的な動作・状態との、従属的な関係が生じてくるのであるが、第一なかどめの形でむすびつけられると、この種の従属的な関係は生じてこない⁴⁾と述べている。(16) bの不自然さは、「助手席に座っている人と話す」が従、「音楽を聞く」が主になる関係から生じているのであろう。順

序を入れ替え「音楽を聞いて、助手席の人と話す」とすれば主従の関係を認めやすくなり、不自然さは感じられなくなる。(16) aについて自然な表現だと回答した人が多かったのも、「音楽を聞く」が従、「運転する」が主という関係になり、この主従関係は通常成立するからだと考える。次の(17)も「カーナビを見る」と「道を探す」に主従の関係が成り立つので、自然な表現となる。

(17) 運転しながら、カーナビを見て、道を探す。

では、次に、先の(3)の例、「夜空を見る」「星を数える」「こおろぎの声を聞く」の3つの動作が同時に行われる場合について考えてみたい。

- (18) a 夜空を見て、星を数えながら、虫の声を聞く。
 b 虫の声を聞きながら、夜空を見て、星を数える。
 c 夜空を見ながら、星を数えて、虫の声を聞く。
 d 虫の声を聞いて、星を数えながら、夜空を見る。
 e 虫の声を聞きながら、星を数えて、夜空を見る。⁵⁾

aからeのうち、不自然さを感じないのはabである。アンケート調査を行った学生も39名中36名が自然な表現であると答えている。それに対してcdeは不自然さを感じる表現であり、cdeを自然な表現だと答えた学生は、順に18名、17名、8名と半数以下であった。さらにcdとeでは不自然さの程度に差のあることがわかる。cdについては自然であるとした学生も18名と17名いたわけであり、判定に個人差が現れている。これも「～して」接続の問題であると考えられる。cdの「～して」で接続されている「星を数える」と「虫の声を聞く」に主従の関係が成り立つと捉えるかどうかで判定を分けているといえよう。成り立つと捉えれば自然な表現になるのである。

一方、eはほとんどの学生が不自然さを感じるとしているが、その原因は「星を数える」と「夜空を見る」の動作の開始順に関係しており、「星を数える」前に「夜空を見る」行為が始まっていなければならないのに、述べる順が逆になっているからであろう。bが自然な表現となるのは「夜空を見て、星を数える」と動作が継起する順に述べているからである。同時進行としても解釈が可能な「～して」について、仁田(1995)は「主体運動を表す動詞が主たる事象の実現のされ方を表す節を形成するには、シナガラ形といった接続形式をとらねばならない」とし、(19)(20)の「タバコヲ吸ウ」「陸橋ヲ渡ル」のような動詞が「～して」で繋がれると、〈時間的継起〉になると述べている。⁶⁾

- (19) 和泉は苦いたばこを吸いながら、伊藤の書いたポスターを眺める。
 (20) 陸橋を渡りながら下を見ると、貨物専用のレールがいくつか立体交叉をなして放射線状にひろがり、～
 (21) 和泉ハ苦イタバコヲ吸ッテ、伊東ノ書イタポスターヲ眺メル。
 (22) 陸橋ヲ渡ッテ下ヲ見ルト、貨物専用ノレールガイクツカ立体交叉ヲナシテ放射線状ニヒロガリ、～

この時間的継起の関係には2通りあると考える。1つは(18) eのように、必然的に先行する動作が決まる場合、もう1つは場面や状況によって先行する動作が決定される場合である。前者の場合、時間的継起に反した並べ方で「～して」接続を用いると不自然な表現になるが、後者の場合は、「コーヒーを飲んで、ケーキを食べる」「ケーキを食べて、コーヒーを飲む」のように述べる順を入れ替えることも可能である。

動作の同時進行という、3つの動作が対等に並んでいるように感じるが、動作間に主従関係や時間的継起関係が認められる場合には、実際にはその関係を考慮して述べなければならないことがわかる。「～ながら～して」を用いる場合には、「～して」で結ばれる動作間に主従関係や時間的継起の関係がどの程度認められるのかが表現の自然さを左右しており、客観的に判断してこれらの関係が認められる場合には、それに反すると不自然な表現になると考えられる。

学生へのアンケートでは、3つの動作を指定し、それを繋げてもらう形式の質問もしたのであるが、上述の主従や継起の問題とは別に、関連性のある動作を並べるという傾向も見られた。3つの動作のうち、2つの動作に関連性がある場合には、関連する2つの動作を離して並べることは避け、連続させていた。以下にその傾向が顕著に見られた動作の組み合わせを挙げておく。なお、下線は連続して並べられていた動作である。

コーヒーを飲む／ケーキを食べる／友達と話す

たき火を囲む／歌を歌う／踊りを踊る

新聞を読む／電車を待つ／たばこを吸う

以上の考察から、「～ながら～して」を用いて3つの動作の同時進行を述べる場合には、「～して」で結ばれる動作間に同時進行としても解釈が可能な主従関係または継起的関係が成立する必要がある、この条件に反しない表現が自然な文となることがわかった。

4. 中国語の場合

4-1 「一边～一边～」の用法

中国語の「一边～一边～」は動作の同時進行を述べる表現であり、中国語のテキストなどでは「一边～一边～」＝「～しながら～する」と説明されている。⁷⁾ 呂 (1982) は「二つの事象が同時に進行している、あるいは一つの事象が発生している時に、もう一つの事象がそこで進行している場合に「一边～一边～」を加え、さらに、「事象が三つあるいは四つと多くなる場合もある」⁸⁾と説明している。つまり、「一边～一边～一边～」という表現が一般的に使われているのである。(24)はその例である。また、次の(25)のように、動作の主体が異なる場合にも用いることができるという。以下は呂 (1980) の例文である。⁹⁾

(23) 他一边说着话，一边收拾工具。

(24) 他一边听电话，一边记，一边招呼客人坐下。

(25) 你一边说，我一边记。

形式としては、「一边～一边～」のほかに、「一面～一面～」「一头～一头～」「一行～一行～」などもあるが、これらは「一边～一边～」と同じ用法の表現として扱われているので本稿ではこれらの表現の区別は問題にしないことにする。

4-2 日本語の「～ながら」との違い

「～ながら」と「一边～一边～」はともに同時進行の動作を述べる表現であるが、異なる点もある。上記に述べた3つあるいは4つの動作を繋げられる点は日本語の「～ながら」にはない使い方である。¹⁰⁾また、日本語の「～ながら」が継続動作だけでなく、結果の状態の維持にも用いることができるのに対し、中国語では結果の状態維持は「動詞+着」の形で表される点も異なる。¹¹⁾(26)(27)(28)は瞬間動作動詞「抱える」を用いた例であり、「着」が付加されていない(27)は成立しない。

(26) 本を抱えながら、走っていった。

(27) *一边抱书，一边跑了。

(28) 一边抱着书，一边跑了。

さらに、日本語の「～ながら」では、同時進行している動作の主体が同一でなければならないのに対し、中国語では先の(25)のように、動作主体は同一でなくてもかまわない。

「～ながら」と「一边～一边～」には、一見、対応関係が成り立つように見えるため、このような違いには注意が必要であろう。

4-3 「一边～一边～一边～」の表現

3つの動作を繋げる例として、日本語の(14)(15)(16)で述べられている動作を中国語で表現すると次のようになる。

(29) 接下来一边吃饭，一边喝点儿啤酒，一边谈吧。

(食事をする／ビールを飲む／話す)

(30) 一边吃点心，一边听音乐，一边看书。

(お菓子を食べる／音楽を聞く／本を読む)

(31) 一边开车，一边听音乐，一边和坐在副驾驶席的人讲话。

(車を運転する／音楽を聞く／助手席の人と話す)

このようにそれぞれの動作に「一边」を加えることで3つの動作を繋げることができる。

しかし、3つの動作を単に並べているわけではない。最初に挙げた(4)bのように、不自然な表現になる場合もある。以下、中国語ではどのような条件が働いているのかを述べていくことにする。

ある時点で3つの動作が同時に行われていたとしても、それぞれの動作の開始時点は異なってもかまわない。(30)のように、3つの動作に関連性がなく、どの動作が先に開始されても問題がない場合には、述べる順序を入れ替えることが可能である。例えば(32)のように表現することもできる。

(32) a 一边听音乐, 一边吃点心, 一边看书。

b 一边看书, 一边听音乐, 一边吃点心。

それに対し, 3つの動作のうちの2つあるいは3つに, 動作の開始に関して前後関係が生じる場合, つまり時間的継起の関係が認められる動作がある場合には, 先行する動作から並べなければならない。(4) bでは「数星星(星を数える)」に先行して開始しなければならない「看夜空(夜空を見る)」が後ろに位置してしまっているのが, 不自然さを感じるのである。さらに, (31)の例で考えてみたい。(31)では先行しなければならない「开车(車を運転する)」を最初に述べさえすれば, (33) aのように「听音乐(音楽を聞く)」「和坐在副驾驶席的人讲话(助手席の人と話しをする)」を入れ替えてもよいが, (33) bのように「开车」を最後にすると不自然さが生じる。

(33) a 一边开车, 一边和坐在副驾驶席的人讲话, 一边听音乐。

*b 一边和坐在副驾驶席的人讲话, 一边听音乐, 一边开车。

ところが, 次の(34)では, 「等电车(電車を待つ)」「吸烟(たばこを吸う)」「看报纸(新聞を読む)」の動作のうち, まず「等电车」が先行して開始されなければならないのに, 順序を入れ替えてもさほど不自然ではない。

(34) a 一边等电车, 一边吸烟, 一边看报纸。

b 一边吸烟, 一边看报纸, 一边等电车。

これは, 「等(待つ)」という行為の性質によると考える。「等(待つ)」は, 外見的には動作を行っているのかどうかを判断しにくいので, 開始時点がはっきりしない。そのため, 述べる順にはこだわらないのであろう。ただし, この3つの動作では, 「等电车」と「吸烟・看报纸」の間に時間的継起が認められるので, これをまったく無視して「等电车」を「吸烟」「看报纸」の間に置くとcのように不自然になる。

(34) c *一边吸烟, 一边等电车, 一边看报纸。

以上で述べた継起する順に並べなければならないという点は, 日本語の「～して」と共通している。つまり, 同時進行の動作とはいえ, 動作の開始に継起の関係が認められる場合はその順に従って述べなければならない点で一致していることがわかる。

5. 結 び

日本語の「～ながら」と「～して」の組み合わせでは, 動作間に主従関係や時間的継起関係が認められる場合の「～して」接続の用い方に注意すれば, 他の部分では動作の並べ方が比較的自由である。「運転しながら, カーナビを見て, 道を探す」と言っても「カーナビを見て, 道を探しながら, 運転する」と言ってもかまわない。つまり, 「～ながら」を用いると時間的継起とは逆の順に動作を並べることも可能である。それに対し, 中国語の「一边～一边～一边～」は, 継起がはっきりしている場合には, 時間的継起の順に並べなければならないため, 「一边开车, 一边看

导航仪, 一边找道儿」では先行する動作「开车 (運転する)」を最初に置かなければならない。3つの同時進行動作の並べ方に限って言えば、日本語より中国語のほうが統語的制約を受けているといえよう。

注

- 1) 和田礼子 (1998) p.98
- 2) 森田良行 (1990) p.69
- 3) 森山卓郎 (1988) p.216, 森田良行 (1990) p.60
- 4) 言語学研究会・構文論グループ (1989) p.14
- 5) 3つの動作の並べかたと「～ながら」の位置の違いを考慮すると、12の表現方法が存在するが、a-eの表現を検討することで他の表現も説明できるため、ここでは6つの表現を挙げることにした。
- 6) 仁田義雄 (1995) p.95
- 7) 例えば、山下輝彦 (1984) 『中国語の入門』白水社 p.137, 相原茂・石田知子・戸沼市子 (1996) 『Why?にこたえるはじめての中国語文法書』同学社 p.341 など
- 8) 呂叔湘 (1982) p.382
- 9) 呂叔湘 (1980) p.528
王力 (1985) は「一面～一面～一面～」の例を挙げている。p.192
一面, 一面看, 一面又用手摸去。
- 10) 学生に作文してもらったところ、「ケーキを食べながら、コーヒーを飲みながら、友達と話す」という表現が1例あった。「～ながら～ながら」を用いたのはこの1例のみであった。次の例のように、別々の時間に行なわれる動作を並べる場合なら「～ながら～ながら」を用いることができる。
いつでも調べられるように家のあちこちに辞書を置いている。テレビを見ながら、本を読みながら、仕事をしながら、知りたい時にはすぐに手に取る。
- 11) 山下輝彦 (1984) p.137
(28) では「着」を取ることはできない。それに対し、継続動作の場合は、例えば「一边笑, 一边说」「笑着说」のように両表現とも可能である。

参考文献

- 言語学研究会・構文論グループ (1989) 「なかどめ一動詞の第二なかどめのばあい」『ことばの科学2』むぎ書房所収
- 鈴木重幸 (1972) 『日本語文法・形態論』むぎ書房
- 仁田義雄 (1995) 「シテ形接続をめぐって」『複文の研究 (上)』くろしお出版所収
- 森田良行 (1990) 『日本語学と日本語教育』凡人社
- 森山卓郎 (1988) 『日本語動詞述語文の研究』明治書院
- 和田礼子 (1998) 「逆接か同時進行かを決定するナガラ節の aspekto について」『日本語教育』97
- 刘月华, 潘文娒, 故韦华 (1991) 『現代中国語文法総覧 (下)』くろしお出版
- 呂叔湘 (1980) 『現代汉语八百词』商务印书馆
- 呂叔湘 (1982) 『中国文法要略』商务印书馆
- 王力 (1985) 『中国現代語法』商务印书馆